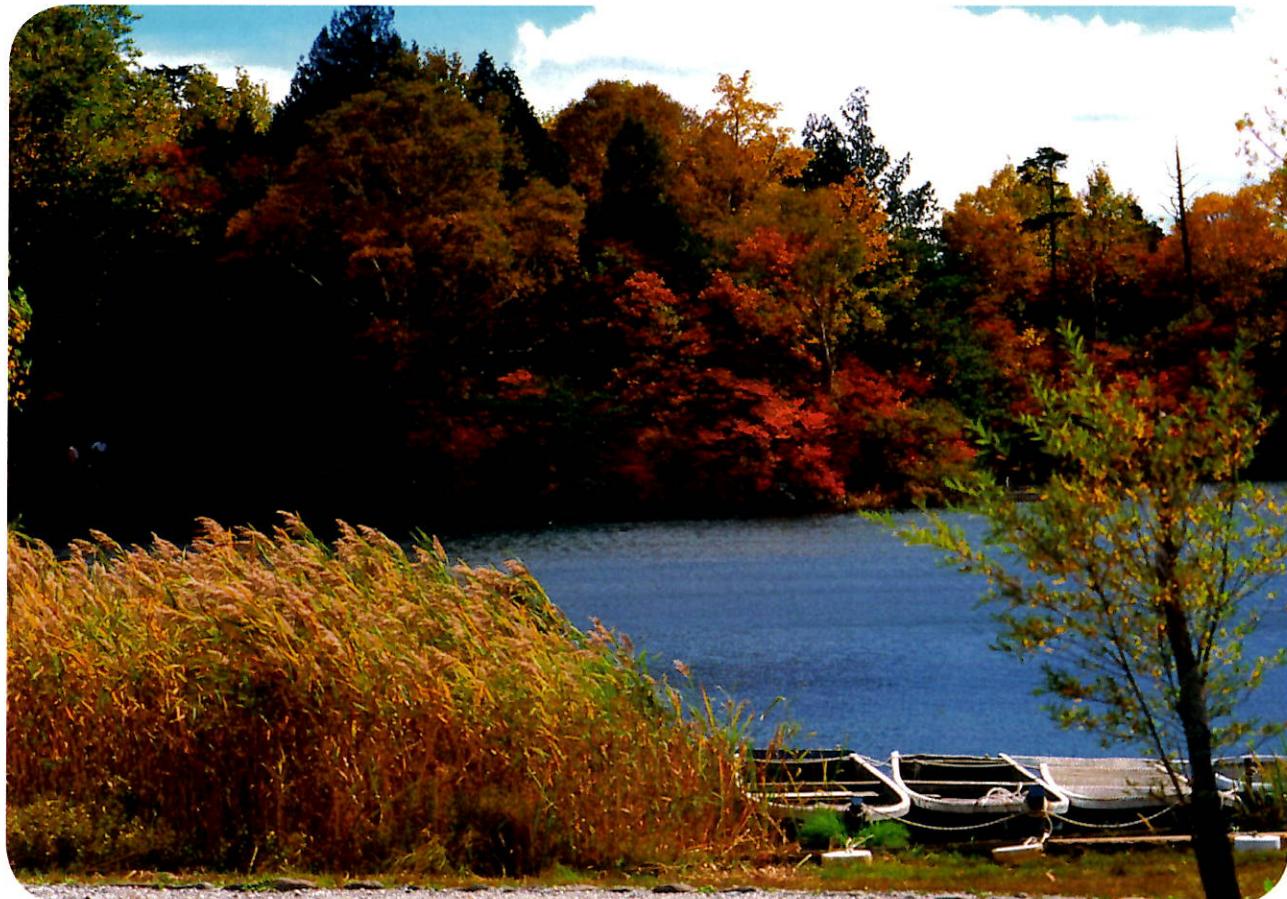


栃葉工だより

第46号



湯ノ湖の紅葉
(日光市湯元)

目 次

● 平成 30 年度定期総会・優良従業員表彰	1
● 役員一覧・収支予算	3
● 新役員あいさつ	4
● 公衆衛生大会・公衆衛生学会	5
● 医療系・理工系学生のための工場見学会	6
● 今後の予定	7

■ 平成 30年度 定期総会

5月15日（火）栃木県薬事工業会の平成30年度定期総会が、「ホテルニューイタヤ」にて開催されました。

富永会長のあいさつ、来賓の金澤業務課長の祝辞に続き、優良従業員表彰式が行われ、当会会員企業において、長年勤務し、その成績が他の模範となる従業員37名の方々に表彰状と記念品が授与されました。受賞者を代表して、グラクソ・スミスクライン（株）の沼尾健一様が謝辞を述べられました。

続いて、議事に移り、当会の規約により会長が議長となり、まず、事務局から出席者の報告（正会員51社のうち、出席33社、委任状提出17社）があり、総会が成立していることが確認されました。

議長が議事録署名人2人（三和生薬（株）・岡田氏、（株）タスク・菅沼氏）を指名したのち、第1号議案「平成29年度事業報告」と第2号議案「平成29年度収支決算報告」が一括上程され、花王（株）の塚田監事の監査報告の後、慎重に審議された結果、原案どおり承認されました。

続いて、第3号議案「平成30年度事業計画（案）」と第4号議案「平成30年度収支予算（案）」についても同様に原案どおり可決されました。

第5号議案の役員改選については、議長が役員（理事と監事）の選出方法について諮ったところ、執行部一任となり、執行部案を提示したところ意義がなく、役員全員の留任が決定し、最後に役員の方々からあいさつがあり、平成30年度の定期総会が終了しました。

その後、優良従業員表彰の受賞者の記念撮影を行いました。



富永会長あいさつ



金澤業務課長祝辞



役員あいさつ

平成30年度 優良従業員表彰式



平成30年度 優良従業員表彰受賞者一覧 (敬称略)

勤続 30 年以上

勤続 20 年以上

勤続 10 年以上

栃木精工(株)	山田 和恵	ジェーピーエス製薬(株)	芦刈 拓次	マニー(株)	村上 悅男
		シミックCMO(株)	山口 正人	マニー(株)	飯島 朋美
グラクソ・スミスクライン(株) 沼尾 健一		ジェーピーエス製薬(株)	柳 保	マニー(株)	古口 久美子
		ジェーピーエス製薬(株)	井上 弘子	(株)カナエ	小山 俊一
持田製薬工場(株)	塚本 栄治	ジェーピーエス製薬(株)	齋藤 久美子	(株)カナエ	松田 亮介
		不二ラテックス(株)	青木 進	(株)タスク	吉田 正一
		富士フィルムテクノプロダクト(株)	岡崎 尊子	(株)タスク	中山 智尋
グラクソ・スミスクライン(株) 山本 孝雄		マニー(株)	大根田 知也	(株)シーボン	阿部 宏美
		(株)シーボン	佐藤 容子	日本プロテイン(株)	茂木 伸之
栄研化学(株)	渡邊 博	(株)シーボン	田中 美帆	日本プロテイン(株)	福田 浩樹
		栃木精工(株)	佐藤 雅洋	日本プロテイン(株)	富田 揚介
持田製薬工場(株)	久保田 治	不二ラテックス(株)	小野田 亨	日本プロテイン(株)	吉岡 達也
		宇津救命丸(株)	沼能 康人	(株)シーボン	宮尾 英樹
		宇津救命丸(株)	寺崎 真千子	日本プロテイン(株)	村田 光史
HOYA Technosurgical(株) 黒澤 敏行		栃木精工(株)	須田 友理子	日本プロテイン(株)	飯塚 康治

平成 30 年度 栃木県薬事工業会役員一覧（敬称略）

平成 30 年 8 月 1 日現在

役職名	氏 名	会 社 名	役職名	氏 名	会 社 名
会 長	富永 英夫	ジェーピース製薬(株)	理 事	寺井 規哲	(株)シーボン
			理 事	茂呂 昌市	シミックCMO(株)
副会長	上田 和久	栄研化学(株)	理 事	愛波 曜	中外製薬工業(株)
副会長	竹内 雄一	グラクソ・スミスクライン(株)	理 事	篠崎 俊比古	(株)ナカニシ
副会長	渡邊 尚史	キヤノンメディカルシステムズ(株)	理 事	木幡 康則	日本サーファクタント工業(株)
			理 事	永利 昌弘	久光製薬(株)
監 事	塙田 実	花王(株)	理 事	柳堀 和生	フォルテグロウメディカル(株)
監 事	岩下 竜太	興和(株)	理 事	石澤 正諭	不二ラテックス(株)
監 事	渡邊八寿子	全薬工業(株)	理 事	金子 典夫	マニー(株)
			理 事	小山 定利	持田製薬工場(株)

事務局（薬務課職員）の転入・転出

転 出			転 入		
役職名	氏 名	転出先	役職名	氏 名	前 所 属
副主幹	荒井 顯義	生活衛生課	課長補佐	秋田 光洋	県南健康福祉センター
主 査	鈴木 隆仁	医療政策課	係 長	東城 加居	保健福祉課
技 師	船渡川 誠	PMDA派遣	主 任	田村貴美恵	県西健康福祉センター

■ 平成 30 年度 一般会計収入支出予算

定期総会で可決された平成 30 年度一般会計予算は次のとおりです。

収入の部

科 目	予算額
1 会 費	4,954,000
2 事 業 収 入	120,000
3 負 担 金	365,000
4 雑 収 入	98,182
5 繰 越 金	572,818
収 入 合 計	6,110,000

支出の部

（単位円）

項 目	予算額
1 会議費	520,000
1 定期総会	400,000
2 理事会等	120,000
2 事務費	2,315,000
1 職員費	1,990,000
2 事務費	315,000
3 事務局活動費	10,000
3 事業費	2,670,000
1 研修会費	1,500,000
2 表彰費	680,000
3 啓発費	270,000
4 会報発行費	220,000
4 負担金	130,000
1 事務所負担金	100,000
2 各種協議会等	30,000
5 記念大会等準備積立金	300,000
6 予備費	175,000
支 出 合 計	6,110,000

■新役員あいさつ

新たに就任された理事・監事の方々からご挨拶をいただきました。

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 渡邊 尚史 様



この度、前任の畠中から引き継いで副会長を務めさせて頂くことになりましたキヤノンメディカルシステムズ株式会社の渡邊尚史です。

弊社は、“画像診断システム”、“ヘルスケアITソリューション”、そして、“体外診断システム”を3つの柱とし事業を展開しております。2018年1月にキヤノンメディカルシステムズ株式会社に社名を変更しましたが、引き続き大田原市の下石上工業団地にて、「Made For life」の経営スローガンの下、人々の健やかな生活の実現のために、グローバルに事業を推進し、豊かな価値を創造しています。

私自身、医療を支える仕事で社会に貢献したいとの思いから、この栃木の地にて努めてまいりました。

これまで、栃木県薬務課や薬事工業会の皆様には、多大なるご支援やご指導を頂きました事、厚く御礼申し上げます。

今後は、薬事工業会の事業活動を推進し、工業会の発展と共に県民の皆様の健康な暮らしに貢献できるよう努めてまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひ申し上げます。

中外製薬工業株式会社 愛波 曜 様



この度、栃木県薬事工業会の理事を務めさせて頂くことになりました、中外製薬工業株式会社宇都宮工場の愛波です。

弊社宇都宮工場は、1990年にバイオ医薬品の製剤工場として創業を開始して以来、バイオ医薬品の原薬製造とその製剤化から注射剤の検査、包装までを担う工場として発展をしてきました。現在では約500名の従業員が高品質な医薬品を安定的に供給し、世界の医療と人々の健康に貢献するために生産活動を行っています。また、今後予定されている新規医薬品の開発から商用生産に対応するため、新しい課題に自ら挑戦する工場として、平均年齢35歳の若い力を結集し取り組んでいます。

これまで栃木県薬務課ならびに薬事工業会会員の皆様には、多大なご指導・ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

微力ではございますが薬事工業会発展のために一生懸命務めて参りたいと思います。今後とも皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りたくよろしくお願ひ申し上げます。

マニー株式会社 金子 典夫 様



この度、前任の高橋から引き継いで、栃木県薬事工業会の理事を務めさせて頂くことになりました、マニー株式会社の金子です。

弊社は1956年に手術用縫合針の製造を開始して以降、針金を素材とする微細加工技術を確立し、医科・歯科治療機器を扱う医療機器メーカーとして患者の皆様のためになり、医師の皆様の役に立つ製品を開発から販売まですべて行うことで、世界の人々の幸福に貢献することを目指しています。

私自身としましては、弊社品質保証業務を行いながら、栃木県薬務課ならびに薬事工業会の皆様から多大なご指導、ご支援を賜り、心から厚く御礼申し上げます。

甚だ微力ではございますが、薬事工業会の各種事業に貢献できるよう努めてまいります。前任者同様、皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

全薬工業株式会社 渡邊 八寿子 様



この度、前任の諏訪から引き継ぎ、栃木県薬事工業会の監事を務めさせて頂くことになりました、全薬工業株式会社栃木工場の渡邊です。

弊社栃木工場は1985年に操業を開始し、医療用医薬品、OTC医薬品、医薬部外品、化粧品等の製造を行っております。

栃木工場は「安全第一・品質第一」をモットーに、研究・開発部門が確立した薬効と安全性を正確に製品化し、市場へと送り出しています。

これまで薬務課並びに薬事工業会の皆様には多大なるご指導、ご鞭撻を賜っております。この場をお借りしてお礼申し上げます。

今後も薬事工業会の発展のため、微力ではございますが監事としての職務を果たして参りますので、どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

■第58回栃木県公衆衛生大会

平成30年9月5日（水）午前に、栃木県総合文化センターにおいて開催されました。

この大会において、長年にわたり当会の理事としてご活躍いただいております、当会会長の富永英夫様（ジェーピーエス製薬株式会社）と副会長でした畠中昭徳様（キヤノンメディカルシステムズ株式会社）のお二人が大会長表彰【個人の部】、日本理化学薬品株式会社足利工場様が大会長表彰【薬事衛生優良施設】で受賞されました。

続いて、学会長表彰が行われ、田中茂樹様（持田製薬工場株式会社）が（平成29年度）公衆衛生学会発表優秀者を代表し太田学会长から表彰状が手渡されました。



■第56回栃木県公衆衛生学会

同日午後から開催されました栃木県公衆衛生学会では、久光製薬株式会社様、株式会社シーボン様の2社が、金澤薬務課長の座長のもと、発表や質疑応答が行われました。栄研化学株式会社様は、誌上発表をされました。

「一元管理シートを用いたCAPAの進捗管理と
GMPルールブックを活用したGMP向上への取り組み」

久光製薬株式会社 品質保証部 富澤 之貴 様



「化粧品の品質クレーム対応システムと
その運用について」

株式会社シーボン 生産部 高山 典子 様



「ブラジルANVISAによるGMP査察対応事例」誌上発表

栄研化学株式会社 品質保証部 小倉 康裕 様

■ 医療系・理工系学生のための工場見学会と意見交換会

平成17年度から薬事工業会事業として、県内の医療・理工系学生を対象に医薬品や医療機器等の製造工場の見学会を開催しておりますが、今年度は、医療用医薬品メーカーのグラクソ・スミスクライン株式会社様と歯科用医療機器メーカーの株式会社ナカニシ様の御協力を得て、初めての試みとなります2社の工場見学会を8月29日（水）に開催しました。

今回は、宇都宮大学、国際医療福祉大学の学生及び関係者を合わせて19名が参加しました。

JR宇都宮駅東口を8時30分に出発したバスは、一路日光市へ向かい、9時過ぎにグラクソ・スミスクライン株式会社今市工場様（日光市土沢）に到着しました。まず、薬事工業会の富永会長から主催者挨拶、Jim Ryan 工場長様からの歓迎の言葉に続き、竹内インターフェンタル・サプライチェーン・クリティヘッド様より工場紹介、各担当者様から安全衛生教育、工場見学の更衣説明を受け、タイベック（つなぎの防護服）を着用し、2班に分かれて生産エリアとラボの見学をさせていただきました。

見学後の意見交換会では、学生からの質問に丁寧にお答えいただき、和やかな雰囲気の中、見学会は終了することができました。その後、ランチ（ビュッフェ形式）会場もセッティングいただき、工場長をはじめ各部署の担当者様、参加学生のOB・OGの方にも御参加いただき、普段聞けないことが気軽に聞くことができたようで、アンケートでも「様々な話ができ、将来について参考になった。」「とても良い経験だった。」等の回答も多く、業務以外の話も丁寧にお答えいただき充実した時間を過ごすことができたようです。エントランスホールにて記念撮影をさせていただき、同社を後にしました。

日光市土沢から30分ほどバスにて移動し、13時30分に午後の見学先である株式会社ナカニシ様（鹿沼市下日向）に到着しました。2017年4月に竣工された新本社R&Dセンター（通称RD1）のセンターコートにおいて、秋家広報・IR課長様から会社概要の説明を受けた後、2班に分かれ見学させていただきました。

RD1は逆円錐形で回転をイメージした4層吹き抜けの構造で、螺旋形のスロープで全フロアがシームレスに繋がれ、研究開発ゾーンやラボラトリなどコミュニケーションが促しやすい構造になっており、実際に歯科医療機器に触れて操作体験ができるコーナーでは、学生も機器に触れて歯を削る疑似体験を興味深そうに試していました。

質疑応答では、株式会社ナカニシ様から見学会の応募の動機を学生に逆質問する場面もあり、学生の声を聞く機会となり、事務局としてもとても参考になりました。アンケートでも「間近で製造の様子を見学でき、具体的な生産のラインを知ることができ良かった。」との回答も多く大変有意義であったようでした。薬事工業会の岩下監事が御礼の言葉を述べ、記念撮影の後、バスでJR宇都宮駅に戻り解散しました。

お忙しい中、準備・対応してくださったグラクソ・スミスクライン株式会社今市工場様・株式会社ナカニシ様、各御担当の皆様の御協力を得て有意義な見学会を開催できましたことに深く感謝申し上げます。



グラクソ・スミスクライン（株）様



(株) ナカニシ様

■ 投稿募集

栃木県薬事工業会では、会報誌【栃薬工だより】(第47号)の【表紙の写真】と【ちょっとイイ話】を募集しています。

掲載されました方には、記念品(クオカード2,000円)を贈呈させていただきます。
ご応募お待ちしております。

【内 容】 【表 紙 の 写 真】(栃木県内で撮影された作品)

掲載内容(作品タイトル、撮影場所、会社名、氏名)

【ち ょ っ と イ い 話】(栃木県内の情報・ジャンルは問いません)

掲載内容(題名、本文(300字以内)、会社名、氏名)

【発 行】 平成31年3月下旬予定

【締 切】 平成31年2月中旬予定

【応募先】 栃木県薬事工業会「栃薬工だより」係あて(Eメール)

【注意事項】

- ・栃木県薬事工業会会員会社に勤務されている方のみ応募可能。
- ・応募作品が多数の場合、事務局により選定させていただきます。
(選定に漏れた場合でも、次号以降に掲載させていただくことがあります。)
- ・応募作品は、応募されるご本人のオリジナルに限ります。
- ・応募作品は、第三者の著作権、肖像権、その他の権利に一切抵触しないようご注意ください。
(発行者は、一切の責任を負わないものとします。)
- ・掲載作品の著作権は発行者に属するものとし、応募作品・データはすべて返却いたしませんのでご了承ください。
- ・商品名、店名を紹介する場合は、事前に承諾を得た上でご応募ください。

【個人情報取扱いについて】

応募の際、お知らせいただいた個人情報は、作品についてのお問い合わせ及び記念品の送付時に利用させていただきます。他の目的で利用することはありません。

【お知らせ】～今後の予定～

● GMP関連研修会 · · 平成31年1月31日(木) ホテルニューイタヤ
(14:00 ~ 17:15)

● 賀詞交歓会 · · · · 平成31年1月31日(木) ホテルニューイタヤ
(17:30 ~ GMP関連研修会終了後)

■□ 編集後記 □■

表紙の写真の湯ノ湖は、日光の奥に位置し、三岳の噴火により湯川がせき止められてできた湖で、周囲のハイキングコースは1時間ほどで一周できます。湖の水は湯滝に流れ落ち、戦場ヶ原、竜頭の滝を経て、中禅寺湖へと注がれているそうです。マス釣りの名所ということで私も友人達とボートに乗って釣りを楽しんだ思い出の湖もあります。

発行日 平成30年11月 発行所 栃木県薬事工業会(TPMA)

宇都宮市昭和1-3-10 栃木県庁舎西別館4階

TEL (028) 650-6163 E-mail:yakumu01@beige.ocn.ne.jp